

授業科目名	保育実習指導 (2100632)		
時間割名	保育実習指導 (70109)		
時間割担当	矢野正 田邊実香		
実施期	通年	単位数	2 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

保育実習の目的や意義を理解し、自らの課題を明確にする。実習施設における子どもの人権と最善の利益に対する配慮やプライバシーの保護、守秘義務について理解し、保育実習を有意義なものとするための態度を身につける。実習の計画を通して、学ぶべき内容を理解し、積極的に実習に取り組む姿勢を養う。

事後指導においては、実習中の反省や評価を通して、新たな課題を明確にする。

学習の到達目標

1. 保育実習の意義・目的を理解する。
2. 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。
3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務について理解する。
4. 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。

授業方法・形式

講義を中心に、実践形式で行う。

授業計画

- 第1回 保育実習の意義(1) 実習の目的
- 第2回 保育実習の意義(2) 実習の概要
- 第3回 実習の内容と課題の明確化(1) 実習の内容
- 第4回 実習の内容と課題の明確化(2) 実習の課題
- 第5回 実習に際しての留意事項(1) 子どもの人権と最善の利益の考慮
- 第6回 実習に際しての留意事項(2) プライバシーの保護と守秘義務
- 第7回 実習に際しての留意事項(3) 実習生としての心構え
- 第8回 実習の記録と計画(1) 実習における計画と実践
- 第9回 実習の記録と計画(2) 実習における観察、記録及び評価
- 第10回 事前指導の総括とまとめ(1) 保育模擬授業の実践
- 第11回 事前指導の総括とまとめ(2) 保育模擬授業の評価
- 第12回 事前指導の総括とまとめ(3) 保育模擬授業のまとめ
- 第13回 事後指導における実習の総括と課題の明確化(1) 実習の総括と自己評価
- 第14回 事後指導における実習の総括と課題の明確化(2) 課題の明確化
- 第15回 事後指導の総括とまとめ

成績評価の基準

1. 実習登録手続きに関する状況、2. 事前の書類(細菌検査・オリエンテーション報告書など)提出の状況、3. 模擬保育への取り組み状況、4. 模擬保育への参加状況、5. 模擬保育の評価、6. 記録・指導案提出の状況及び内容をもとに、総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

保育実習に臨むにあたっての引き出しを多く持つことが大切である。何より臨機応変に対応する資質・能力が必要である。これまでの既習の授業を総括しておくことが望ましい。

履修上のアドバイス及

私語を慎む、無断で遅刻・早退をしないなど、受講上の基本的なマナーを守ること。

資料の予備配布は行わないため、欠席した学生は、次回講義までに出席した学生などから資料をコピーさせてもらうこと。

なお、欠席などは事由の如何を問わず認めない。

教材・教科書

特に、指定しない。

参考書

厚生労働省「保育所保育指針」フレーベル館のほか、授業中に適宜、指示する。